

サブゼミー表面物性 「固体表面における非断熱過程」

講師 東大理 塚田 捷

(参加者 26 名)

近年、化学反応を念頭においた固体表面での原子または、分子の非弾性散乱及び拡散のような動的過程が、“modern surface science”として注目を集めている。そこで、今年のサブゼミは、その“modern surface science”なるものについて学ぼうという目的でひらかれた次第である。発表内容及び発表者は以下の通り。(発表順)

- I. 「固体表面における非断熱過程」…東大・理 塚田捷
- II. 「FIMによる動的表面構造の観測の可能性」…東大物性研 橋詰富博
- III. 「原子一表面の非弾性散乱について」…東学大・教育 新藤茂
- IV. 「イオンビームの固体表面における荷電変換」…早大・理工 河合良一

発表内容が理論にかたより過ぎたきらいはあるが、参加者にとって今後の研究の刺激となれば幸いである。最後に、講師の塚田先生をはじめとする発表者の方々に厚くお礼を申し上げます。  
(世話人、東大物性研 田中繁)

サブゼミー誘電体 「強誘電体の相転移」

講師：八木駿郎(九大・理)

参加人数：15名

内 容：

今回のサブゼミは2日間のうち、初日は講師の経験談などをおりませた講演をお願いし、2日目は、サブゼミ参加者による各研究室の紹介や個人的な研究上での苦勞などを発表してもらった。少人数ではあったが、かえって親密でうちとけた雰囲気話し合うことができ、夏の学校らしいゼミができたと思う。

最後に、講師の八木駿郎先生に色々とお世話になったことに対しお礼を申し上げます。又、参加者の方々の御協力誠にありがとうございました。  
(世話人、九大理 副島雄児)